

# 平成25年度予算見積調書

課室名：畜産安全課  
 担当名：総務・畜産企画  
 内線：4189

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B32	秩父高原牧場運営費			一般会計	農林水産業費	畜産業費	畜産振興費	秩父高原牧場費	
事業期間	昭和48年度～	根拠法令	埼玉県秩父高原牧場条例・埼玉県ふれあい牧場条例		戦略項目	08	埼玉県農業の競争力強化		
					分野施策	030201	収益力ある農業の確立		
1 事業概要 秩父高原牧場は県内酪農家の乳用育成牛を広大な敷地を利用した放牧により、強健な乳牛に育てる受託育成、及び、黒毛和牛子牛の生産と譲渡を実施、県内の酪農・肉用牛振興の拠点施設となっている。また、彩の国ふれあい牧場は手作り体験などにより、県民の畜産への理解醸成に取組み、本県畜産振興のための重要な施設となっている。 今後も秩父高原牧場の適切な運営により、本県の畜産振興を図る。 (1) 秩父高原牧場運営費 65,370千円				5 事業説明 (1) 事業内容 秩父高原牧場運営費 65,370千円 県内の畜産振興のため、秩父高原牧場及び彩の国ふれあい牧場の適正な運営を図る。 (2) 事業計画 今後も秩父高原牧場及び彩の国ふれあい牧場の運営により、県内の畜産振興を図る。 (3) 事業効果 ・乳用育成牛入牧頭数の増頭 平成23年度 146頭(現状) → 平成26年度 220頭(目標) 参考 平成21年度 213頭、平成22年度 192頭 ・肉用牛譲渡頭数の増加 平成23年度 14頭(現状) → 平成26年度 20頭(目標) ・ふれあい牧場展示館入館者数の増 平成23年度 56,000人(現状) → 平成26年度65,000人(目標) (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ・牧場で5月中旬から6月初旬に開催している天空を彩るポピーまつりの開催 平成20年から地元市町と観光協会、関係機関からなる「彩の国ふれあい牧場連絡協議会」を設立し、協議会主催によりポピーまつりを開催。 ・牧場春祭り等での県内畜産団体及び農家による県産畜産物の販売 平成23年度からゴールデンウィークに開催している牧場春祭りや秋に開催している牧場秋まつりでの、埼玉県畜産会、県内畜産農家による県産畜産物の販売を実施。 ・緊急雇用対策事業終了による対応 平成24年度で国の緊急雇用対策事業を活用した牧場の雑草防除業務が完了。今年度からは、県の関係職員によるマンパワーで実施を計画					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×14.5人=137,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		使用料・手数料	財産収入	諸収入					
決定額	65,370	44,698	4,504	327			15,841	△8,676	
前年額	74,046	50,616	4,454	322			18,654		